

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	千里ニュータウン第一種市街地再開発事業新築工事(街区住宅施設-商業業務施設)	階数	地上36F、地下1F
建設地	大阪府摂津市千里丘	構造	RC造
用途地域	商業地域、防火地域	平均居住人員	1,480 人
地域区分	6地域	年間使用時間	8,760 時間/年(想定値)
建物用途	物販店,飲食店,集合住宅,	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2027年3月 予定	評価の実施日	2024年3月5日
敷地面積	4,743 m ²	作成者	株式会社東畑建築事務所本社オフィス大阪 戸田裕之
建築面積	3,917 m ²	確認日	2024年3月5日
延床面積	44,082 m ²	確認者	株式会社東畑建築事務所本社オフィス大阪 戸田裕之



2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)	2-2 ライフサイクルCO ₂ (温暖化影響チャート)	2-3 大項目の評価(レーダーチャート)
<p>BEE = 1.8</p> <p>S: ★★★★★ A: ★★★★★ B: ★★★★★ B: ★★ C: ★</p>	<p>標準計算</p> <p>①参照値 ②建築物の取組み ③上記+②以外の ④上記+</p> <p>このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO2排出量の目安で示したものです</p>	

2-4 中項目の評価(バーチャート)		
<p>Q 環境品質</p> <p>Q1 室内環境 Q1のスコア= 3.4</p> <p>Q2 サービス性能 Q2のスコア= 3.6</p> <p>Q3 室外環境(敷地内) Q3のスコア= 3.5</p>		
<p>LR 環境負荷低減性</p> <p>LR1 エネルギー LR1のスコア= 4.1</p> <p>LR2 資源・マテリアル LR2のスコア= 3.1</p> <p>LR3 敷地外環境 LR3のスコア= 3.5</p>		

3 設計上の配慮事項		
<p>総合</p> <p>ZEH-M Orientedを取得し、省エネルギー性の高い快適な室内環境を整えられるよう努めた。また、良好な都市環境を形成し、賑わいのある街並みを維持するよう努める計画とした。</p>		<p>その他</p> <p>特になし。</p>
<p>Q1 室内環境</p> <p>ほぼ全面的にF☆☆☆☆の建材を使用し、全館禁煙として室内の良好な空気質環境の確保を図っている。</p>	<p>Q2 サービス性能</p> <p>耐用年数の長い配管を採用して更新必要間隔を長くするように努めた。</p>	<p>Q3 室外環境(敷地内)</p> <p>敷地内には適切に緑化を施すことで地表面温度上昇を極力抑える計画とした。</p>
<p>LR1 エネルギー</p> <p>高効率給湯器、LED照明設備等を採用することで省エネルギーに配慮している。</p>	<p>LR2 資源・マテリアル</p> <p>躯体と仕上げが容易に分別可能なことから部材再利用の可能性向上に配慮している。</p>	<p>LR3 敷地外環境</p> <p>ライフサイクルCO₂排出率を参照値より抑制し、地球温暖化への配慮をしている。</p>

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 ■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)
 ■「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
 ■評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される

【建物概要】	建物名称	千里丘駅西地区第一種市街地再開発事業新築工事(1街区住宅施設・商業業務施設)					
	建設地	大阪府摂津市千里丘					
	用途/区分	集合住宅 飲食店 物販店					
【評価結果】	CASBEE 総合評価					A	
①	CO2削減					4	
②	みどり・ヒート アイランド対策					4	
③	建物の断熱性					5	
④	エネルギー削減					5	
⑤	自然エネルギー直接利用					—	
	再生可能エネルギー 利用施設の導入状況	太陽光発電	○	風力	—	地熱	—
		太陽熱利用	—	水力	—	バイオマス	—

エネルギー消費量の報告	対象外
-------------	-----

【評価項目】			
項目	評価内容	スコア	評価
① CO2削減	CASBEE「LR3-1」のスコアによる評価	3.8	4
② みどり・ヒートアイランド対策			4
生物環境の保全と創出	CASBEE「Q3-1」のスコアによる評価	4.0	
敷地内温熱環境の向上	CASBEE「Q3-3.2」のスコアによる評価	3.0	
	温熱環境悪化の改善	CASBEE「LR3-2.2」のスコアによる評価	3.0
③ 建物外皮の熱負荷抑制	CASBEE「LR1-1」のスコアによる評価	5.0	5
④ 設備システムの高効率化	CASBEE「LR1-3」のスコアによる評価	4.7	5
⑤ 自然エネルギー利用	CASBEE「LR1-2」のスコアによる評価	2.1	—
エネルギー消費の実態把握に努める	エネルギー消費量の実績を3年間報告する。	報告する 報告しない	-

その他		
	技術の名称	考慮事項
先進的技術の導入		
特に配慮した事項		